

家庭数

いっしょにみんなだいすき

泉台小学校 学校通信10号
 発行責任 校長 福田 哲也
 発行日 平成28年9月26日

保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察致します。さて、先日は学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせ致します。

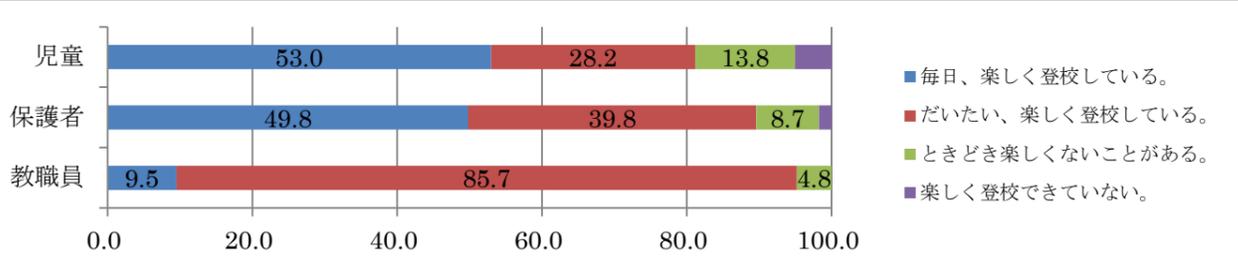
本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果の見方について

子ども、保護者、職員それぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、その内容に関する指導ができているかを表しています。

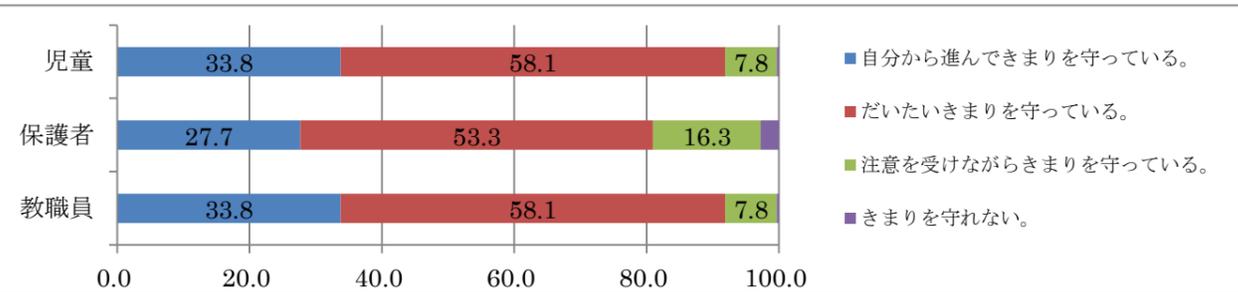
また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

1. 学校に来るときの気持ちについて

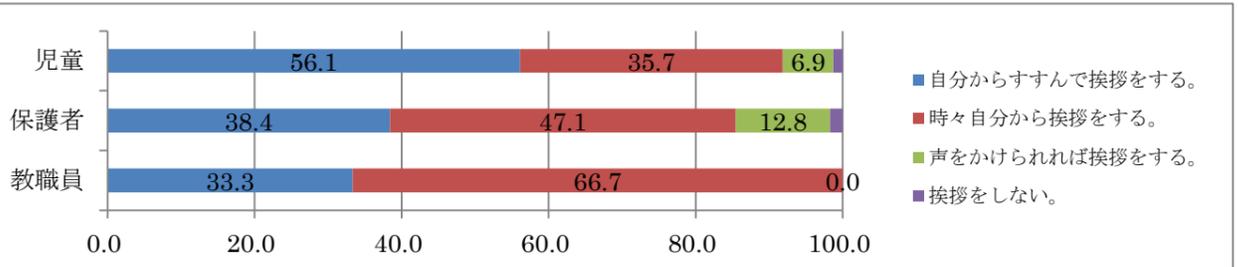


2. 学校のきまりについて

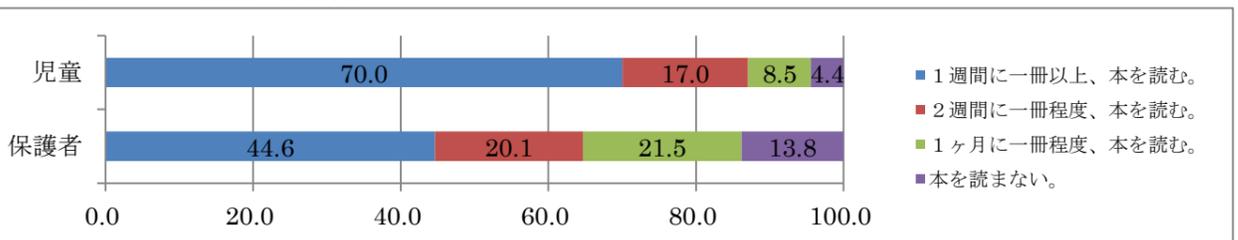
・ろうかを走らない ・チャイムを守る ・遅刻をしない など



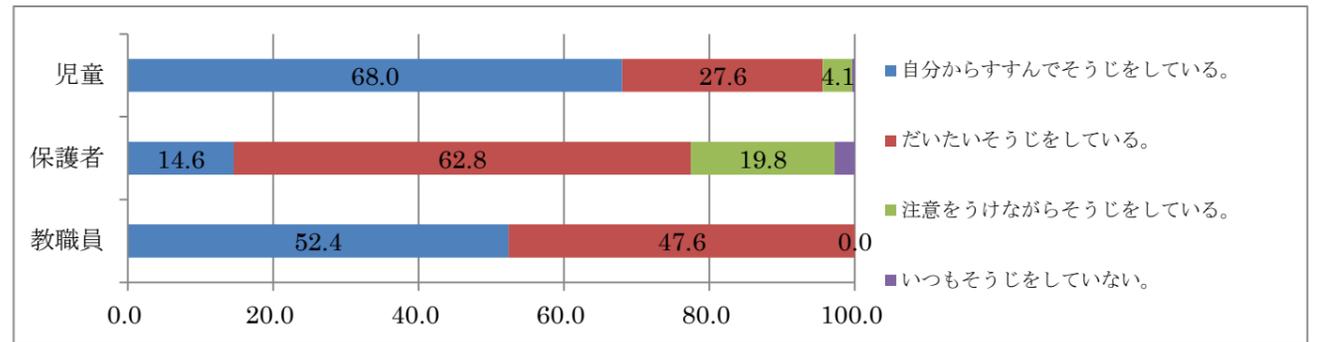
3. あいさつについて



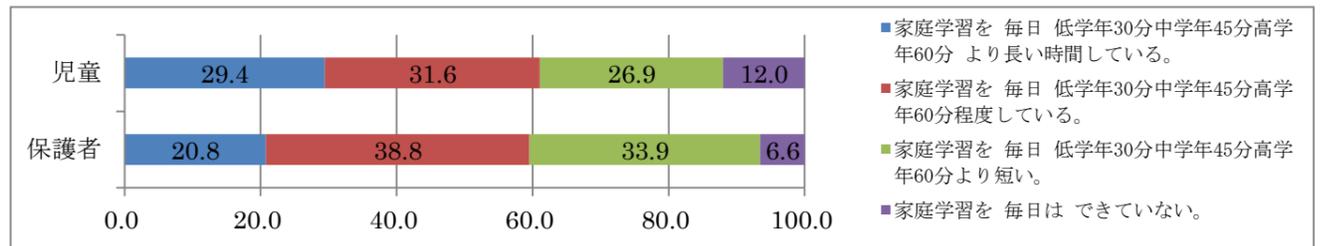
4. 読書について (児童・保護者)



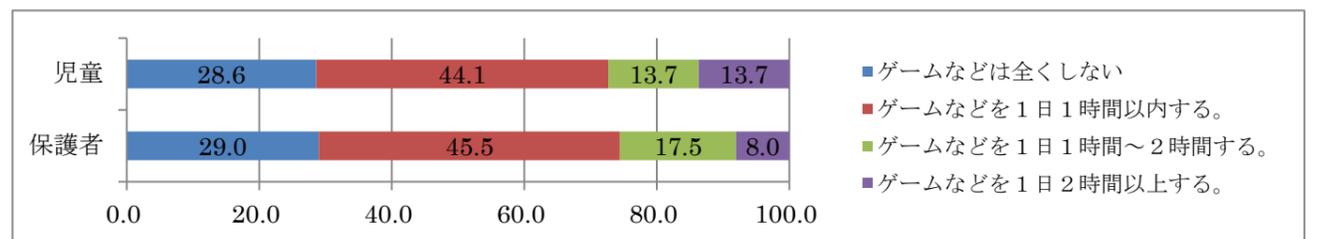
5. 学校のそうじについて(児童・教職員) 家庭での手伝いについて(保護者)



6. 家庭学習について (児童・保護者)



7. 携帯電話やゲームについて (児童・保護者)



アンケートの分析

○学校に来るときの気持ち 約20%(60名)の児童が、「学校に来るのが楽しくないことがある」と答えています。保護者や教職員は、児童の思いに寄り添うとともに家庭と学校が情報交換をしながらきめ細かく児童を見つめていきたいです。

○学校のきまり 全校のほぼ90%は、おおむね「きまりを守っている」と児童・教職員の見方は一致しています。それに対し16%(47名)の保護者が「注意を受けながらきまりを守っている」、3%(8名)の保護者が「守れない」と評価しています。学校以外の場所で児童が規則を守っていない姿がみられているようです。集団生活の約束を守れるよう、機会と場を捉えて保護者の皆様にも指導していただきたいです。

○あいさつ 児童・教職員は90%以上「挨拶はできている」と評価しています。一方、保護者の約14%は「声をかけられれば挨拶をする」挨拶をしない」と評価しています。家庭や地域での挨拶、児童間の挨拶を指導していきたいです。

○読書 「月に1冊以上、本を読む」と考えている児童は95%を越え、「読まない」児童は4%(14名)です。そのうち70%の児童は週に1冊以上読んでいますと評価しています。一方、わが子は「本を読まない」と見ている保護者は14%(40名)です。学校では休み時間や、課題が早く終わったときなどを使って本を読んでいる姿が見られます。「家読」(家庭での読書)の必要性が求められています。家庭と学校が連携してメディア接触の時間を減らし、読書習慣の推進に努めていきましょう。

○手伝いやそうじ 児童・教職員共に高い評価です。児童は本当によく頑張っています。この姿をもっと保護者の方へ伝え、児童の頑張りを認め、ほめていただく必要性を感じています。家庭での手伝いや掃除については、いつも自分からできる児童が15%(42名)です。できたこと・したことを認め、ほめることを通して心の育ちを進めていきたいものです。

○家庭学習 60%の児童は、毎日 低学年30分 中学年45分 高学年60分以上の学習をしていると評価しています。一方、毎日学習できていない児童は12%(38名)です。宿題は必ず行い、自主学習を進めるよう指導していきますので、各家庭でも声をかけていただきたいです。

○携帯電話やゲーム ゲーム等をする時間が2時間を越えると答えた児童は14%(43名)です。これは、上記「毎日学習できていない」割合と一致しています。家庭でよく話し合い、ルールを決め、マナーを守った使い方ができたらよいと思います。